



三菱長崎造船所 占勝閣

長崎港を眺望する由緒ある迎賓館。現在もほぼ創建当時の姿で、進水式・引渡式の祝賀会、貴賓の接待等に使用されている。



三菱長崎造船所 第三船渠

日本の造船を支えた、当時東洋最大のドライドック。入り江の地形を利用し、背後の崖を切り崩し、前面の海を埋め立てた。

高島炭坑(北溪井坑跡)

※ツアー中は見学できません。



1869年、日本最初の蒸気機関による竖坑である高島炭坑(北溪井坑)が開坑し、日本の炭鉱の近代化の先駆けとなる。



三菱炭坑発祥の地 高島にゆかりのある、三菱財閥の創業者 岩崎彌太郎の銅像。



石炭資料館には、軍艦島の1/100の模型があって、ガイドによる説明付き予備知識をGET!



長崎港

三菱長崎造船所 旧木型場

伊王島

高島

端島(軍艦島)



旧グラバー住宅

日本に西洋技術を伝えたグラバーのビジネス拠点。棟の対岸に三菱重工業(株)長崎造船所を眺望できる高台に位置している。



三菱長崎造船所 小菅修船場跡

日本で初めて蒸気動力を装備したスリップドック。薩摩藩とスコットランドの商人グラバーによって建設された船舶修理施設。



三菱長崎造船所 ジャイアント・カンチバークレーン

現役で稼働する、日本初の電気モーター駆動のクレーン。1961年いったん解体され、現位置である水の浦岸壁に移設された。

世界遺産を臨みながら、歴史と文化の旅へ出発… 高島(石炭資料館)と軍艦島へW上陸!

端島炭坑(軍艦島)

高島炭坑の技術を継承し、炭鉱の島として開発。明治中期以降、採炭事業が本格的に開始。大正以降に高層住宅が建設され、最盛期には約5,300人が居住したが、エネルギー政策の転換によって1974年に閉山、無人島となった。島内の一部に整備が行われ、2009年から上陸ツアーがスタートした。



石炭の繁栄と衰退を物語るかつての海底炭坑



端島小中学校



総合事務所と第二堅坑



30号棟・31号棟アパート



端島神社



67号棟X階段